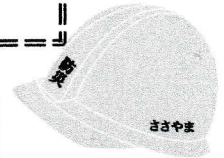


「ささやま 防災通信」 #15
笹山自主防災会からのお知らせです

2025.08.16



9月1日は1923年のこの日に発生した「関東大震災」にちなみ、また台風シーズンで「災害へのそなえをおこたらないために」と「防災の日」と制定され、この日を挟む8月30日～9月5日までが防災週間です。ちょっと防災について見直してみましょう。

6月の防災体験学習、起震車で震度6強のゆれを体験しましたか？「関東大震災」クラスの地震が発生したら、ここ笹山地区でも震度6弱以上のゆれが想定されてます。

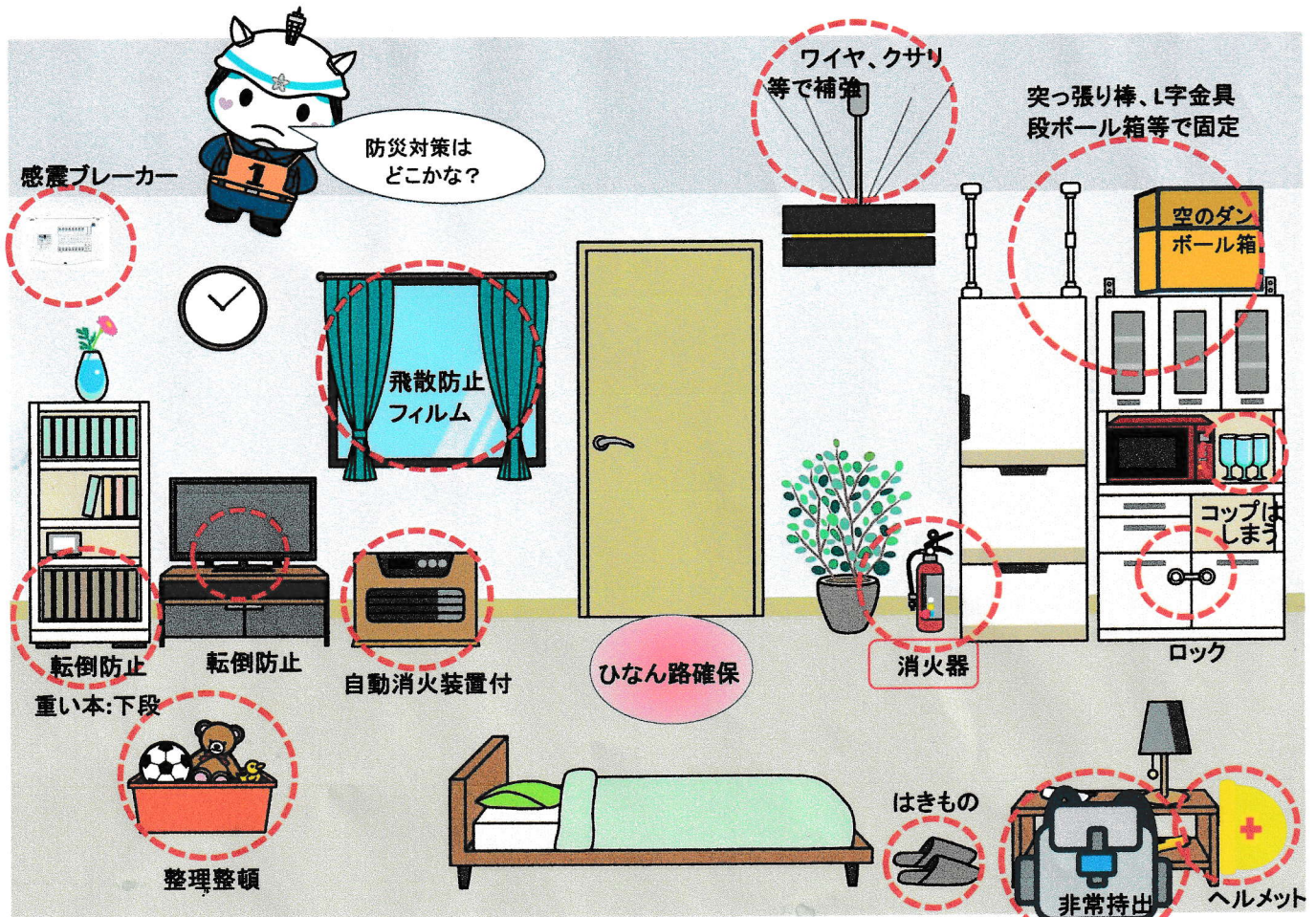
ふだんから防災を心がけましょう。いま、わたしたちにできること。

2章 地震!! その対策

1 家の中にひそむ危険とそなえ

大震災では、家具の転倒による被害が多い!!

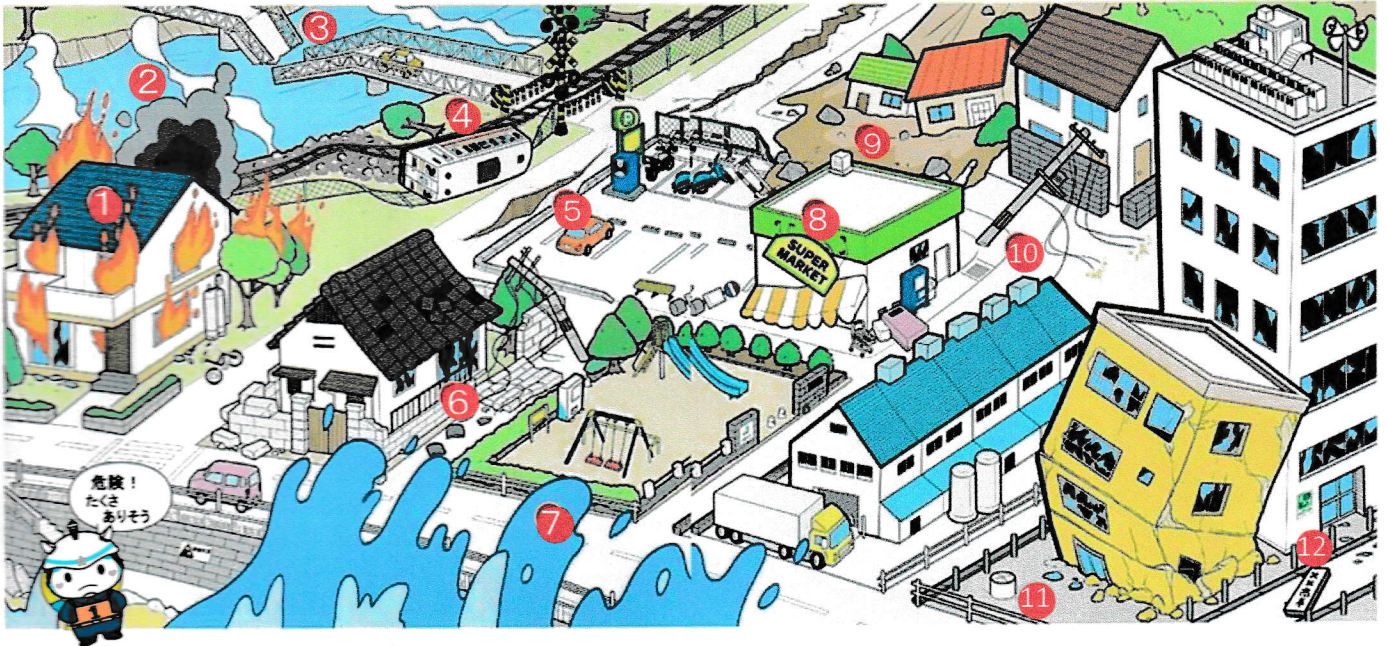
事前のそなえとちょっとした心がけで、危険を少なくしたり、防ぐことができます。



食器棚などの食器類は扉のガラスを破って飛び出すこともあるので注意しましょう。

2 家の外にひそむ危険とそなえ

大きな地震が起こると、多くの建物が建物が倒れ、火災が起こりやすい。海に近い地域では、津波、山沿い、崖の近くでは土砂災害の恐れがあります。ここ笹山地区では、津波、土砂災害のおそれは比較的少ないですが、外に出かけていて地震にあったときは適切な行動をしましょう。



① 火災

けむりや炎をみつけたら、風下をさけ、広い道路や空き地にひなんする。

③ 橋の損傷

橋を使わないルートも調べておく。橋にいたとき地震が起きたら、すぐにひなんする。

⑤ 地割れ

自転車ではハンドルをとられたり、歩いているときは転倒するおそれがあるから近づかない。

⑦ 津波

海の近くで地震がきたら津波に注意する。揺れを感じたら、海から遠くにはなれた高台にひなんする。

⑨ 土砂災害

地震で地盤がゆるみ、特に大雨や長雨のあとは地盤がゆるみやすいので、がけくずれが起こりやすい。斜面やがけからすぐに離れる。

⑪ 液状化

液状化が生じると水や砂を噴き上げたり、マンホールが浮き出したりする。地盤の状態が不安定なため近づかない。

② 川の逆流

津波は河川をさかのぼるため、揺れを感じた高台などの安全な場所にひなんする。

④ 電車の脱線

脱線した車両には近づかない。線路脇には高圧線が設置されていて、感電のおそれがある。電車に乗っているとき地震がきたら、吊りかや手すりにつかまり転倒を防ぐ。

⑥ ブロック塀の倒壊

ブロック塀は、揺れに弱く倒壊の危険がある。揺れを感じたら、すぐにブロック塀から離れる。

⑧ 頭上の注意

高い建物の下は地震によりガラスや看板などが落下してくるから注意。カバンや手荷物などで頭を守り、広い場所に移動する

⑩ 切れた電線

切れてたれ下がった電線には近づかない。高圧の電流が流れていて感電のおそれがある。特に雨の日や、水たまりがあると電流がながれやすいので注意する。

⑫ 足元の注意(飛散物)

ひなんする時、足元に注意する。ガラスやガレキなどが飛散している所をさける。

災害時に役立つ備蓄品

災害発生後は日常生活が一変し、食料や日用品の調達がむずかしくなります。支援物資が届くまでに時間がかかるかもしれません。

笹山自治会・自主防災会では自治会員皆さんの備蓄品は備えられません。

皆さん各自で用意をお願いします。備蓄の目安は72時間、3日以上です。

3章 災害時に役立つ備蓄品

1 災害時に必要なもの


必ずそなえておきたいもの

災害時は水道、下水道などが使えなくなることがあります。

各家庭で長期保存ができる飲料水、トイレ処理袋をそなえておきましょう。

1 1人1日3リットル (飲料水+調理用水)

2 最低3日分

 大人2人だと…

3リットル×2人×3日分=18リットル



2リットルのペットボトル 9本分

凝固剤



新聞紙



- ① 便器の上から大きめのポリ袋をかぶせる
- ② 市販の凝固剤あるいは丸めた新聞紙をいれる
- ③ 使用後袋をしっかりと結び、ポリ袋にまとめ、ゴミ収集ができるようになったら自治体の指示に従って廃棄
- ④ 使用後は手指を洗う

1人1日5袋として3日で15袋

必需品！防災グッズ(非常用持出袋)に常備するもの



- ① 下着・タオル・軍手・はき物
- ② 防寒服・カイロ・充電器
- ③ 飲み物・お菓子類・トランプ等
- ④ 薬・消毒液・ティッシュ類・マスク
- ⑤ かい中電灯・ラジオ・ホイッスル
- ⑥ 小銭 など

皆さん、ご存じですか？いざ！という時にそなえて、自治会館の敷地と北永山公園の中に災害時に必要な最小限の資材をそなえた防災倉庫を設置しています。



防災倉庫1(笹山自治会館)

テント、リアカー、一輪車、毛布、担架、ジャッキ、つるはし、スコップ、バール、脚立、ガスコンロなど建屋等の倒壊などからの救助、炊き出しの備品が収納されてます。

防災倉庫2(北永山公園)
被災時の被災受付用資材(被災受付用長小机、簡易テント、掲示板、安否確認集計表)、発電機、ガソリン、LED投光器、折り畳み式ノーパンク自転車(連絡用)などの備品が収納されてます。



笹山自主防災会は「笹山自治会役員、班長、自主防災役員、サポーター、応援隊」のメンバーで構成されてます。

「震度5弱」の地震が発生した時、「防災会メンバー」はそれぞれの役割分担で行動します。行動の役割は、会員「各戸配布」されてます「笹山自治会 諸規則」の「被災時の初期対応行動基準(笹山自治会ルール)」を参照して確認してください。そこには「住民の行動」として会員皆さんの取るべき行動も記載されてますので、ご参考ください。

自主防災会メンバーは今年3月末に配布されました総会資料記載の承認された方々です。防災倉庫収納備品と合わせて確認してみてください。



笹山自治会 自主防災会